

令和7年度 相模原市 I R 資料



潤水都市 さがみはら



相模原市マスコットキャラクター

さがみん

トピックス	2
① 相模原市のプロフィール	10
② 財政状況	14
③ 堅実な財政運営の堅持に向けて	23
④ 市債運営	26
お問合せ先	30

3つの「重点テーマ」

トピックス

少子化対策・雇用促進対策・中山間地域対策

3つの「重点テーマ」

人口減少・少子高齢化が進行する中でも、将来にわたり市民が安全で安心して暮らせる社会を実現する必要があることから、分野横断的に取り組む3つのテーマ「**少子化対策**」「**雇用促進対策**」「**中山間地域対策**」を定め、該当する取組などへの資源の集中を行っています。

少子化対策の 主な取組

- 「相模原市子育て応援条例」の制定や、「さがみはら津久井産材」を活用したラトルを出生届出時にプレゼントするなど、社会全体で子育てを応援する機運の醸成
- 淵野辺公園へのふわふわドームの整備や、相模原麻溝公園へのロング滑り台の設置に向けて取り組むなど、子育て世帯のニーズに対応した公園の更なる魅力向上

など



雇用促進対策の 主な取組

- 市就職支援センターによる産業・福祉等への分野横断的な支援
- 株式上場等を目指す起業家への支援
- 神奈川県との広域的なスタートアップ支援の連携
- 週20時間未満で働く障害者の短時間雇用の創出や障害者就労の普及啓発

など



中山間地域対策の 主な取組

- 現行の路線バスや乗合タクシー等の再編に向けた実証運行の実施
- 緑の休暇村センターなどの周辺公共施設の利活用や再整備の方向性の検討
- 多様な交流の場と地域活性化の起点となる「小原の郷」の機能拡充

など



小原の郷

橋本駅周辺のまちづくり

リニア中央新幹線、圏央道、鉄道3路線で広域につながる橋本は、ものづくり産業が集まり、さまざまな人が行き交うだけでなく、周りには豊かな自然があるなど多くの可能性を持っています。

まちづくりのコンセプト

リニアでつながる一步先の未来を叶えるまち橋本



リニア中央新幹線神奈川県駅（仮称）の工事が進められ、併せて駅周辺のまちづくりを推進しています。

相模原駅北口地区のまちづくり

相模原駅北口地区は、鉄道駅前の大規模な更地であり、本地区のまちづくりは、首都圏南西部の広域交流拠点の一翼を担い、圏域全体への発展の起爆剤としての役割が期待されています。

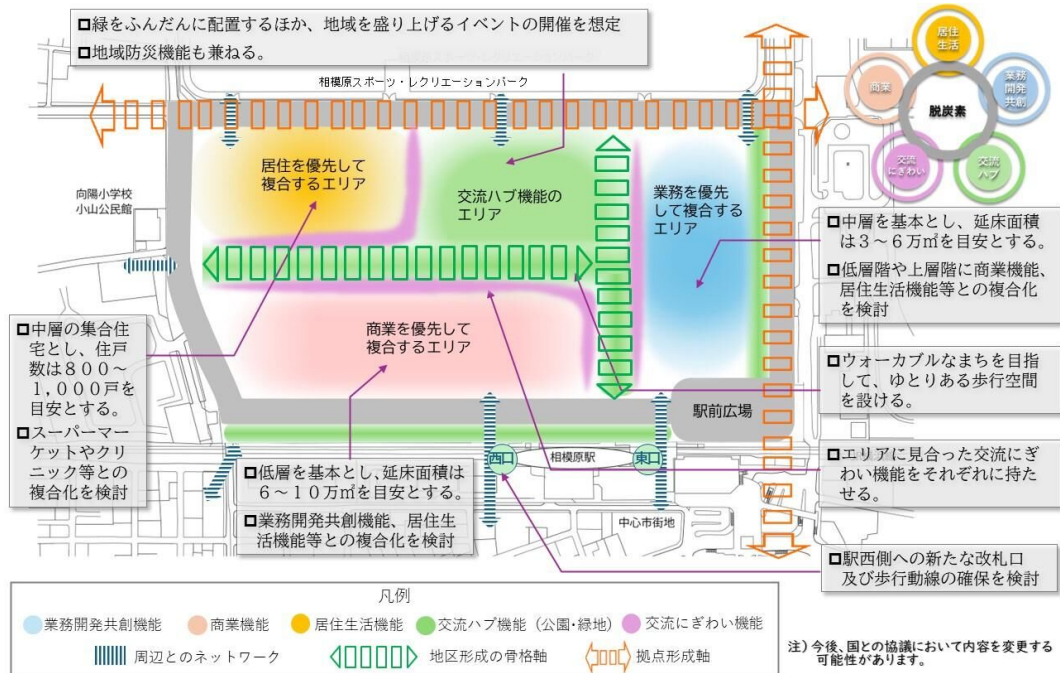
まちづくりのコンセプト

多様な交流が新たな価値をうみだす

「グリーン × ライフ × イノベーション シティ」

Challenge Sagamihara

<土地利用計画図>



<土地利用のイメージ>



令和7年8月に「相模原駅北口地区土地利用計画」を策定しました。今後は、本計画に沿った土地の処分及び土地利用が図られるよう、必要な基盤整備と並行して用途地域、地区計画などを含む都市計画決定に向けて、国を含めた関係機関との協議を進めます。

宇宙を身近に感じられるまち

JAXA（宇宙航空研究開発機構）相模原キャンパスがある本市では、宇宙を身近に感じられるまちづくりを進めています

JAXA相模原キャンパス

- 小惑星探査機「はやぶさ」「はやぶさ2」の開発、運用の拠点であるJAXA相模原キャンパスがあります。
- 2026年度には世界初の火星衛星サンプルリターンミッション「**Martian Moons eXploration（火星衛星探査計画）**」が予定されており、開発が進められています。



市立博物館のプラネタリウムがリニューアル

- 令和7年7月に市立博物館のプラネタリウムがリニューアルしました。
- 10億個の星々と8K全天周映像を同時に体験することができる**世界初のプラネタリウム**です。



動物愛護への取組 ～動物も人も共に幸せに暮らすまちを目指して～

主な取組

動物愛護

多頭飼育届出制度、適正飼育の普及啓発、譲渡会の開催、負傷した犬や猫等の収容等

狂犬病の発生予防

犬の登録・狂犬病予防注射の促進、放浪犬の捕獲等



猫の譲渡面接会

- 保護猫や飼えなくなった猫を譲渡する取組を行っています。
- 令和6年度は71頭の猫に新しい家族が見つかりました。



多頭飼育届出制度

- 令和7年4月から犬・猫の多頭飼育届出制度を開始しました。
- 多頭飼育に関するアドバイス等を行っています。



犬のしつけ方教室

- 犬の飼い主様向けにセミナーを開催しています。
- 令和6年度はドッグトレーナーをお呼びし、モデル犬による実演等を行いました。

子育てするなら相模原 ～子どもたちに夢と希望と豊かな心を育む「さがみ風っ子文化祭」事業～

事業目的

造形活動・音楽活動・演劇活動の発表の機会を提供し、子どもたちに夢と希望と豊かな心を育むことをめざすもの
また、学童期から文化芸術活動の充実に力を入れている市であることをPRし、人口増加につながることが期待される



造形「さがみ風っ子展」

小・中学生等が制作した図工・美術の
作品 約2万点の作品展



小・中音楽発表会

小・中学生による合唱や器楽合奏、吹
奏楽の発表



中学校演劇発表会

市立中学校等の演劇部員による演劇
活動の発表

「小・中学生たちの作品を一堂に集めた美術展を相模原で開こう」

特に造形「さがみ風っ子展」は、地元教師たちの熱い想いをきっかけに、1975（昭和50）年にはじまり、
日本最大級の屋外作品展として、40年以上にわたり相模原市の芸術文化を育んでいる。

ツアー・オブ・ジャパン 2025 AMANO 相模原ステージを開催!

Tour of Japan 2025

AMANO

SAGAMIHARA STAGE



フィニッシュ会場で
ゴールを見届けよう!

【写真提供: TOJ組織委員会】

2025年5月24日(土)
8:30~12:30頃 開催

Tour of Japanは、自転車ロードレースとして、国内最大規模かつ唯一の都府県をまたぐステージレースであり、「日本版ツール・ド・フランス」ともいわれます。
国内で開催されるUCI(国際自転車競技連合)公認レースの1つです。
東京2020オリンピック自転車競技のレガシーとして誘致し、2021年から、「相模原ステージ」が加わりました。

【主催】自転車月間推進協議会
【主管】ツアー・オブ・ジャパン相模原ステージ実行委員会
(事務局:相模原市民局スポーツ推進課)
【協賛(トップパートナー)】アマノ株式会社
【ホームチーム】JCL TEAM UKYO
【コース】橋本公園-小倉橋(旧)-(串川橋)-鳥居原ふれあいの館前-(周回コース)
(パレード4.8km+10.9km+13.8km×7周(周回コース))

【Tour of Japan相模原ステージ コース】



詳細は、相模原ステージ公式HPをご覧ください



- 「ツアー・オブ・ジャパン(TOJ)」はUCI(国際自転車競技連合)公認レースであり、大阪から東京まで8日間・8ステージで行われる、国内最大規模かつ唯一の都府県をまたぐステージレースです。
- 相模原ステージは、東京2020オリンピック自転車ロードレース競技のレガシーとして2021年から加わったステージであり、第7ステージに位置付けられます。
- オリンピックのコースの一部を使用しており、相模原市緑区にある橋本公園前をスタートし、市街地を駆け抜け、自然豊かな山間地を周回し、フィニッシュ地点である鳥居原ふれあいの館を目指します。
- 相模原市を象徴する都市部と中山間部を活用したコースを舞台に、熱い戦いが展開されます。

2025年は、トップスポンサーのアマノ株式会社様を冠とした大会名称で開催しました。
毎年、地域と連携・協力して大会を盛り上げています。



スタートセレモニー

写真提供: TOJ組織委員会



フィニッシュ会場(鳥居原ふれあいの館)

相模原市の財政状況

財政健全化指標の状況（令和6年度決算）

- 1 | 実質公債費比率は 20指定都市のうち 2 番目の低さ
- 2 | 将来負担比率は 算定されない状況（比率なし）
- 3 | 財政力指数は 20指定都市で 9 位
- 4 | 自主財源比率は 20指定都市で 10 位

※ 相模原市は、財政健全化指標の定着等により、格付け取得（STANDARD&POOR'S社）を平成25年2月からとりやめています。

1

相模原市のプロフィール

相模原市マスコットキャラクター
さがみん



相模原市の概要①

Easy Access

産業・経済の発展と市民生活の更なる向上をめざす街、さがみはら。

首都圏の主要都市や羽田空港への好アクセスに加え、小田急多摩線の延伸計画があり、実現されると鉄道ネットワークの更なる強化が見込まれます。

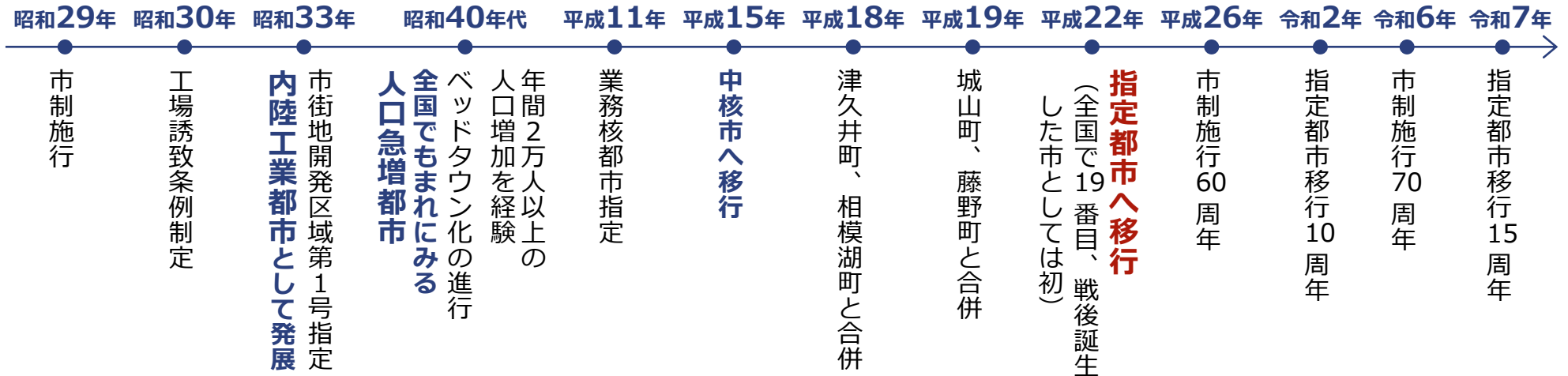
また、日本の新たな大動脈として期待の高まる「リニア中央新幹線」が開業すると、中京圏、近畿圏へのアクセスも一層向上します。

相模原市は神奈川県北部、首都圏の南西部に位置しており、東京都心から30～60km圏内にある人口約72万人の都市。

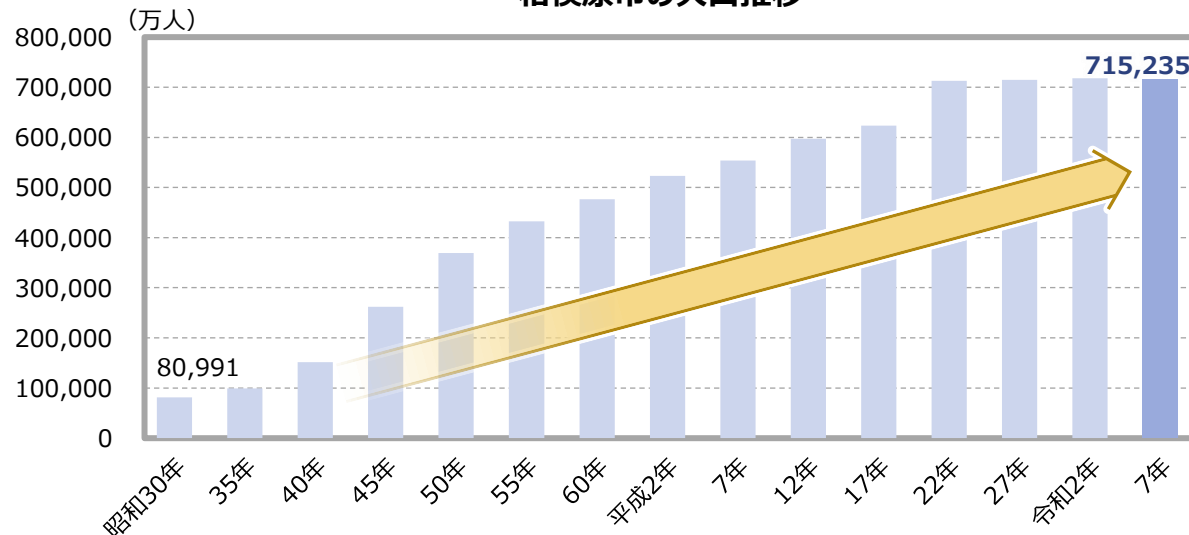


相模原市の概要②

市の沿革



相模原市の人口推移



相模大野駅付近から北西側を望む

相模原市の概要③



潤水都市 さがみはら

「潤水都市 さがみはら」に込められた思い

- 相模川の豊かな流れや道志川の清流、相模湖、津久井湖、宮ヶ瀬湖など首都圏の水がめを有しています。
- 清らかな水・豊かな自然に恵まれ、市民の心も潤いに満ちています。
- 戦後生まれ初の政令指定都市で若く活気にあふれ、「純粹」という言葉にかけています。

西部 津久井地域

丹沢の山々と湖が、水源地の豊かな自然環境を形成



相模湖周辺

東部 旧相模原市地域

平坦な市街地において密度の高い土地利用が進む



橋本駅周辺



美大・医大などの多様な大学やJAXA等、
学術・研究機能が集積する都市



JAXA相模原キャンパス
(宇宙科学研究本部)

2

財政状況

小粒だけど堅実な財政運営

相模原市マスコットキャラクター
さがみん



財政規模

堅実な財政運営

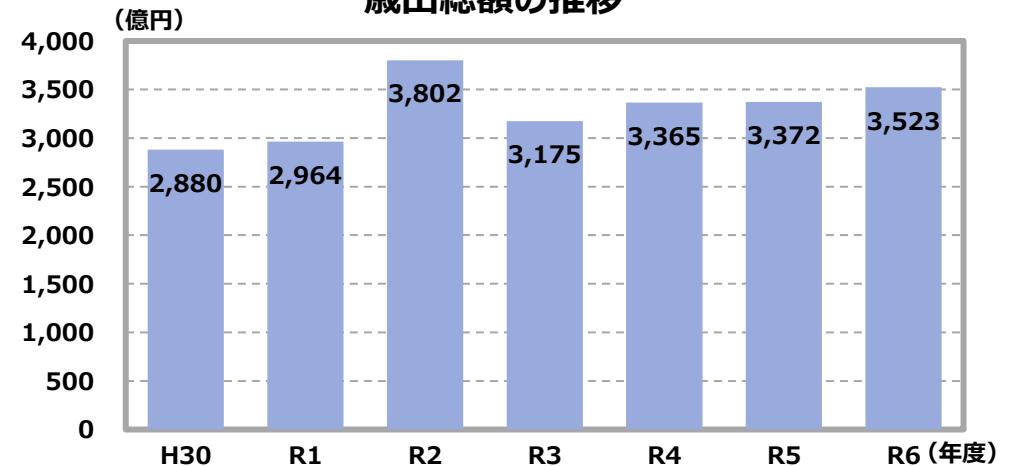
令和6年度普通会計決算収支状況

項目	金額(億円)	備考
歳入総額	3,626	標準財政規模は指定都市 20位／20都市 1,888億円
歳出総額	3,523	
歳入歳出差引	103	指定都市の 標準財政規模平均 4,040億円
実質収支	92	実質収支比率 4.9%
市民1人あたりの 歳出決算額 (万円)	49.3	指定都市 20位／20都市

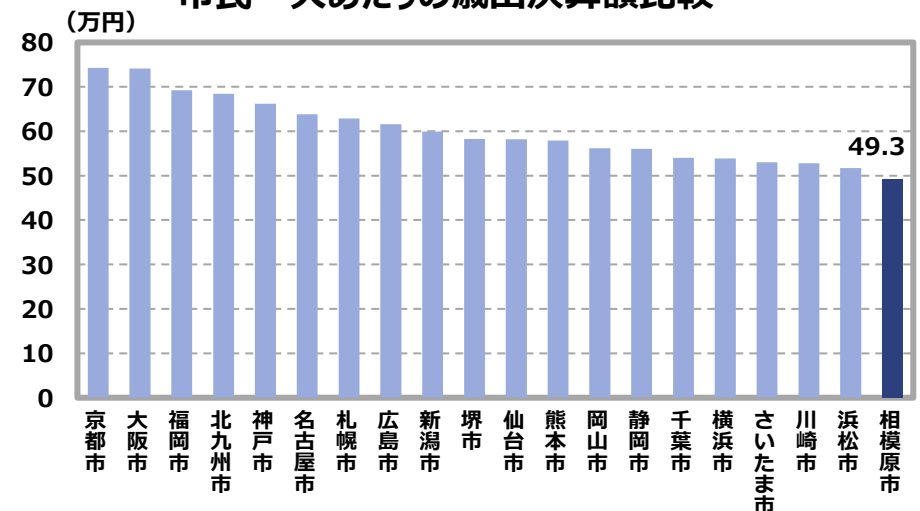
- 財政規模は指定都市の中で最も小さな規模
- 市民1人あたりの歳出決算額も最も少額

※「1人あたり」の指標の積算は、3月31日現在の住民基本台帳人口に対する割合で算出

歳出総額の推移



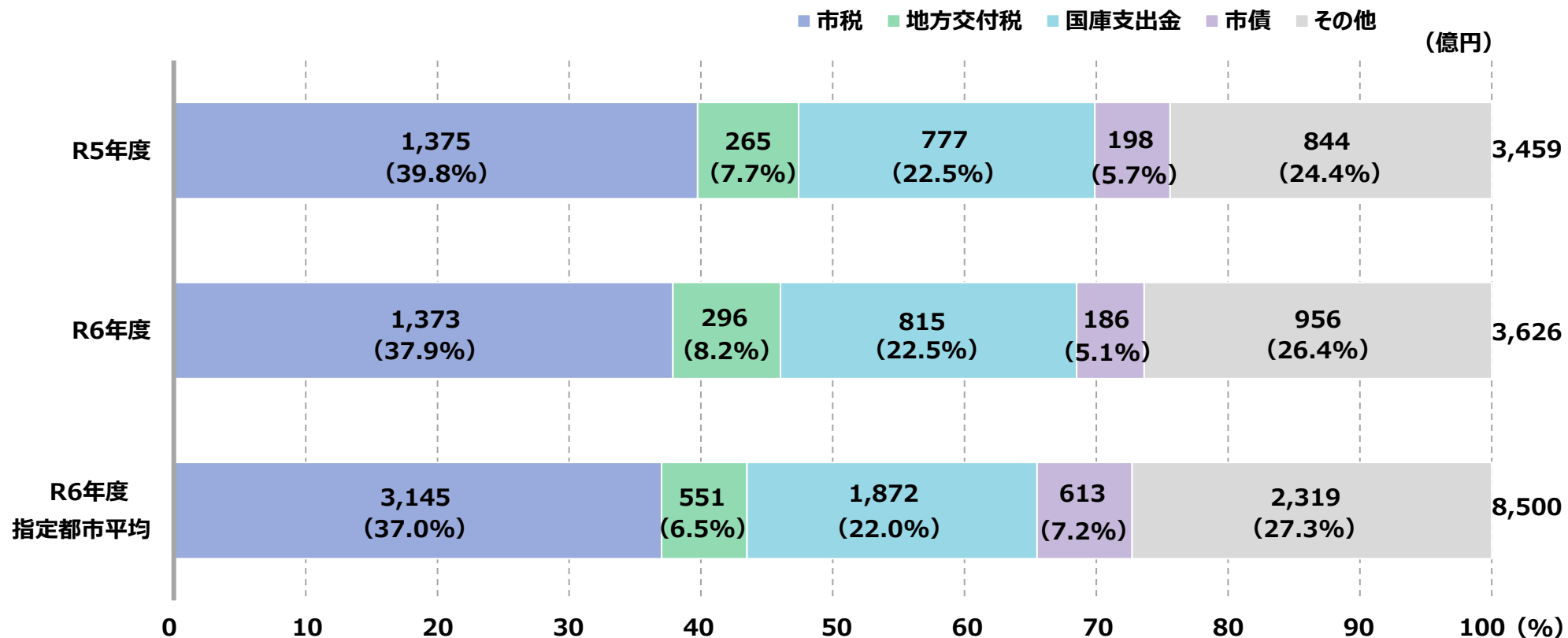
市民一人あたりの歳出決算額比較



歳入について①

歳入

- 歳入は約3,626億円で、前年度より4.8%増加
- ➡ 市税は0.2%、市債は5.9%減少、地方交付税は11.6%、国庫支出金は4.9%増加
- 他の指定都市に比べ、市債の割合が低い

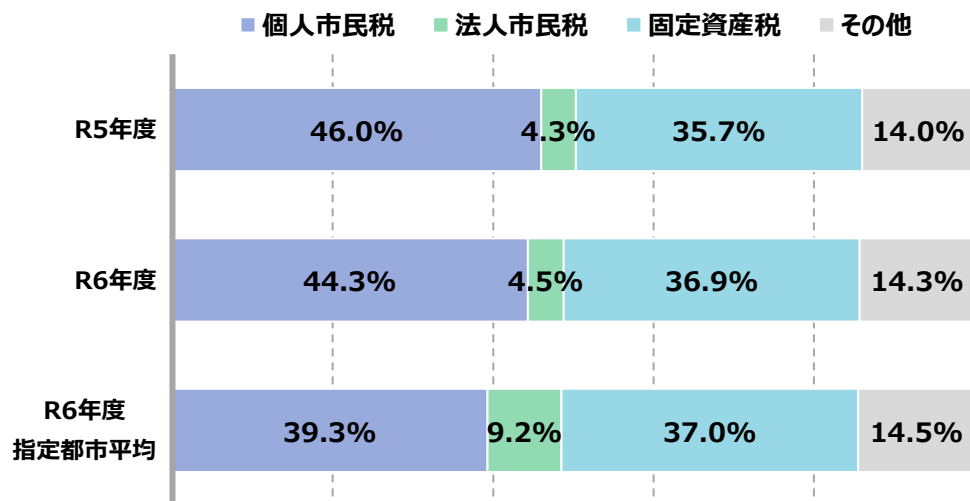


歳入について②

市税の状況

- 定額減税の影響による個人市民税の減少等により0.2%減少
- 他市に比べ、個人市民税の割合が大きく、法人市民税の割合が小さい

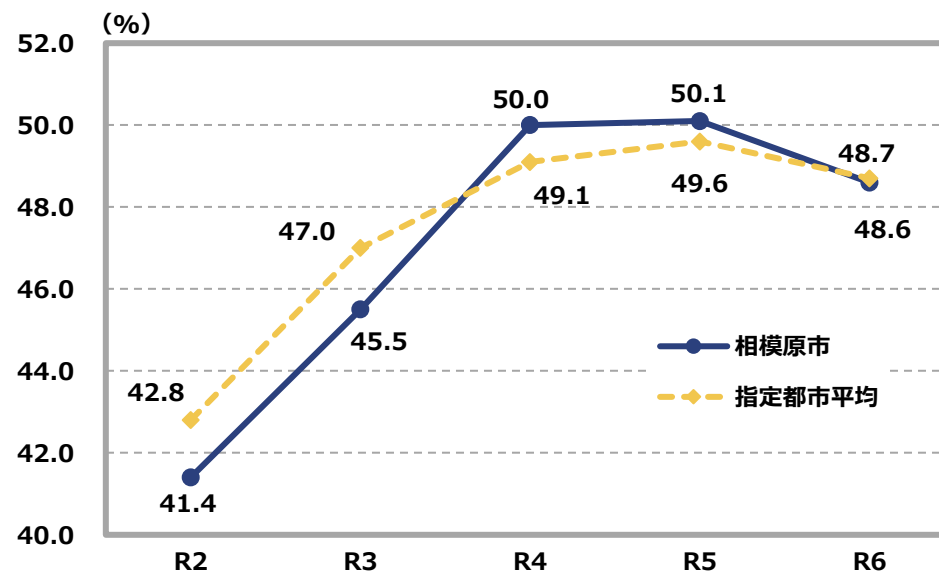
市税収入額 (億円)	個人 市民税	法人 市民税	固定 資産税	その他	計
令和5年度	633	59	491	192	1,375
令和6年度	609	62	506	196	1,373



自主財源比率

- 約5割を自主財源が占める
- 規模は小さくても十分な財源調達

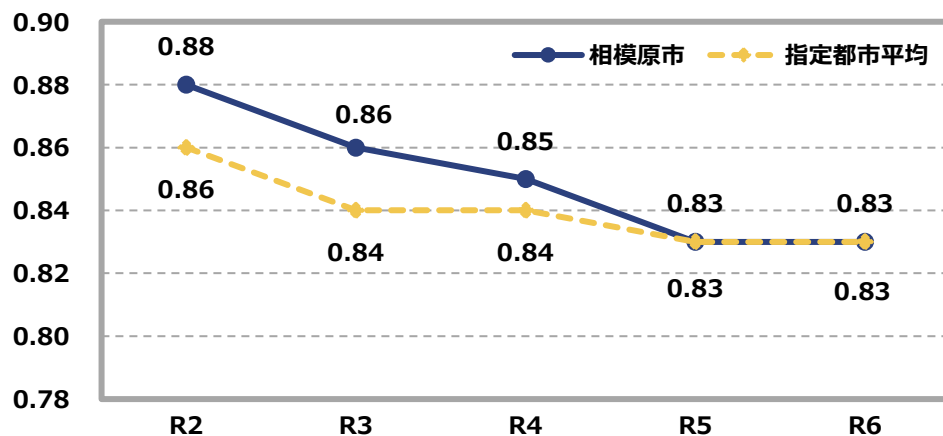
相模原市	指定都市平均	
48.6%	48.7%	R5 : 10位 / 20都市 R6 : 10位 / 20都市



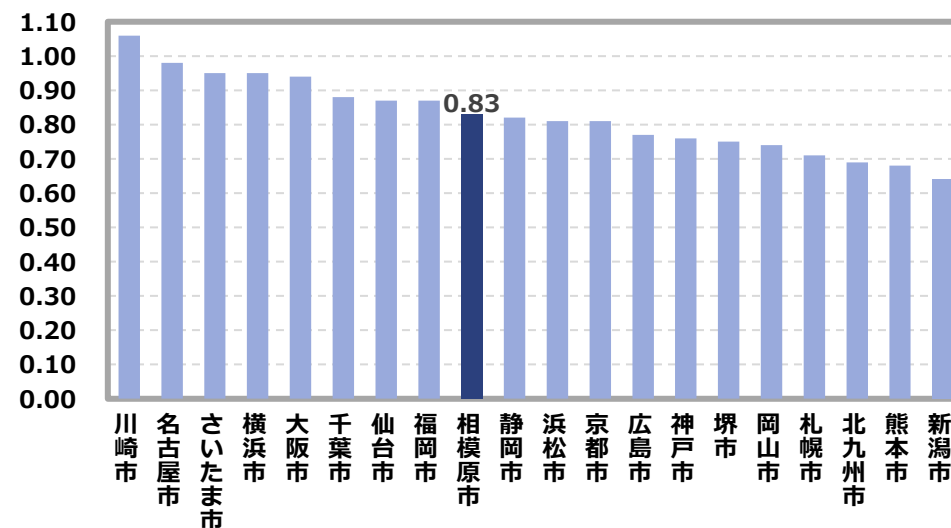
歳入について③

財政力指数（3カ年平均）

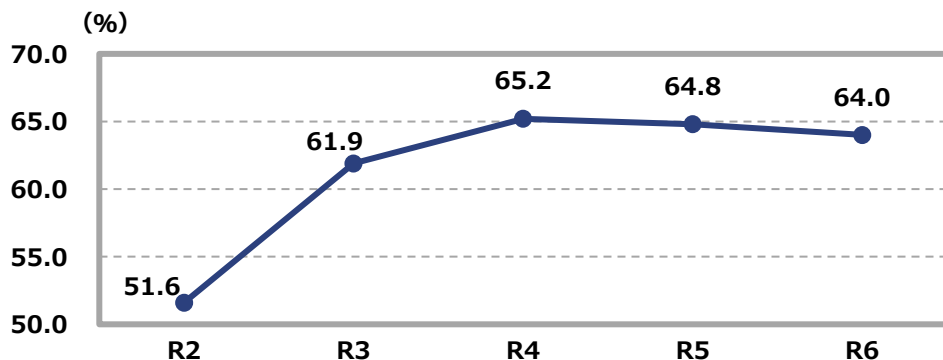
- 令和6年度の財政力指数（3カ年平均）は「0.83」
- 指定都市 9位／20都市



相模原市	0.83	9位／20都市
指定都市平均	0.83	



一般財源比率



- 一般財源比率が高いほど財政運営の自由度が高くなる

歳出について①

歳出

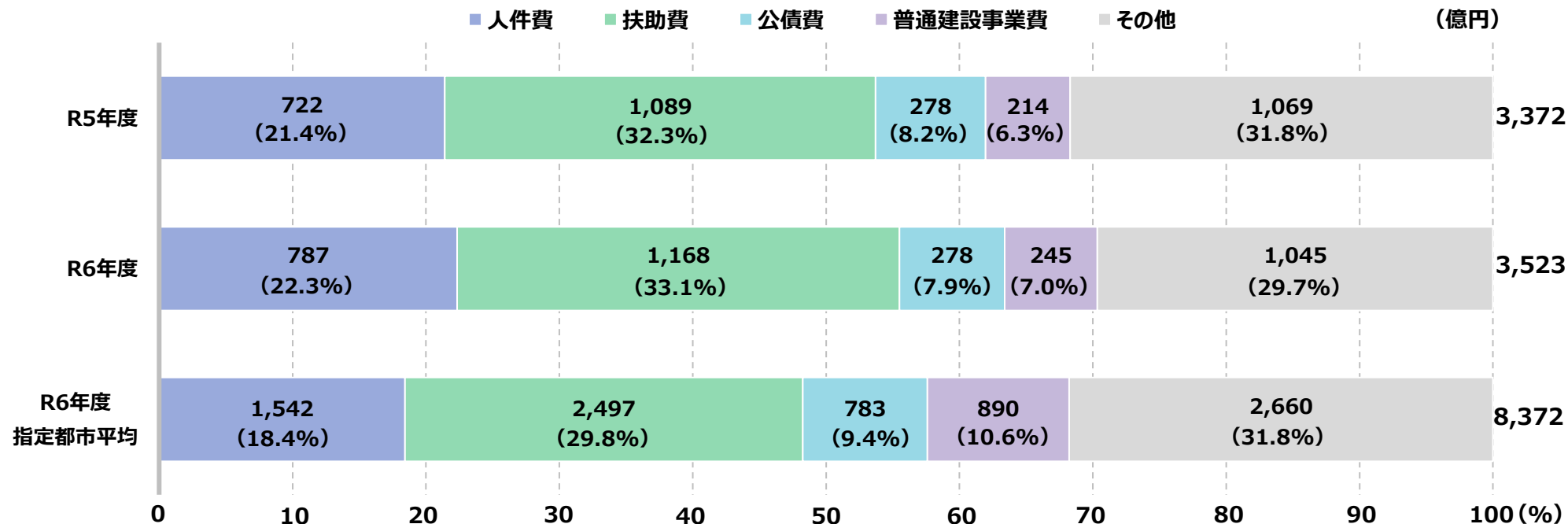
- 歳出は約3,523億円で、前年度より4.5%増加
- 人件費は8.9%、扶助費は7.3%増加、普通建設事業費は14.3%増加
- 他の指定都市に比べ、
人件費の割合が高いものの、市民1人あたりの人件費で比較すると13位／20都市
公債費の割合が低く、市民1人あたりの公債費は20位／20都市

市民1人あたりの
人件費

109,987円
(指定都市**13**位)
指定都市平均114,630円

市民1人あたりの
公債費

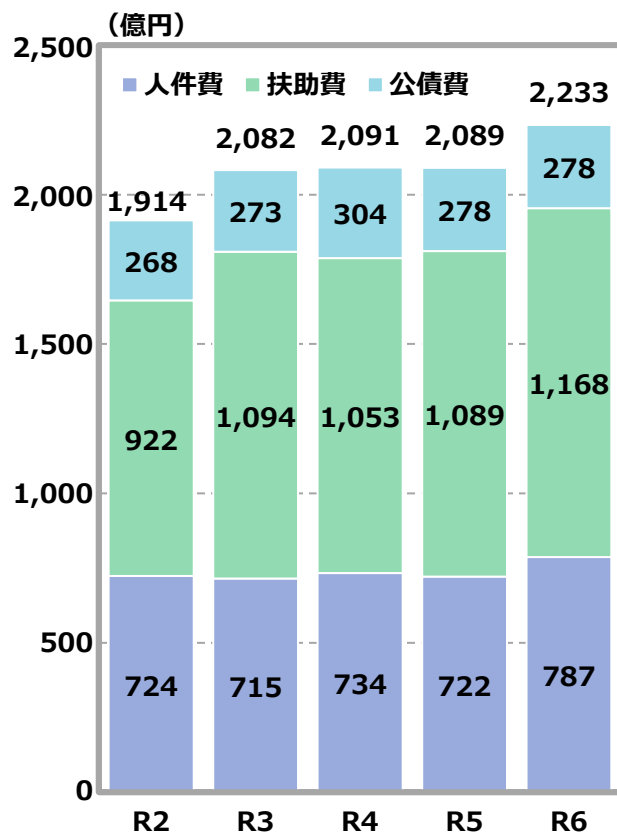
38,850円
(指定都市**20**位)
指定都市平均56,204円



歳出について②

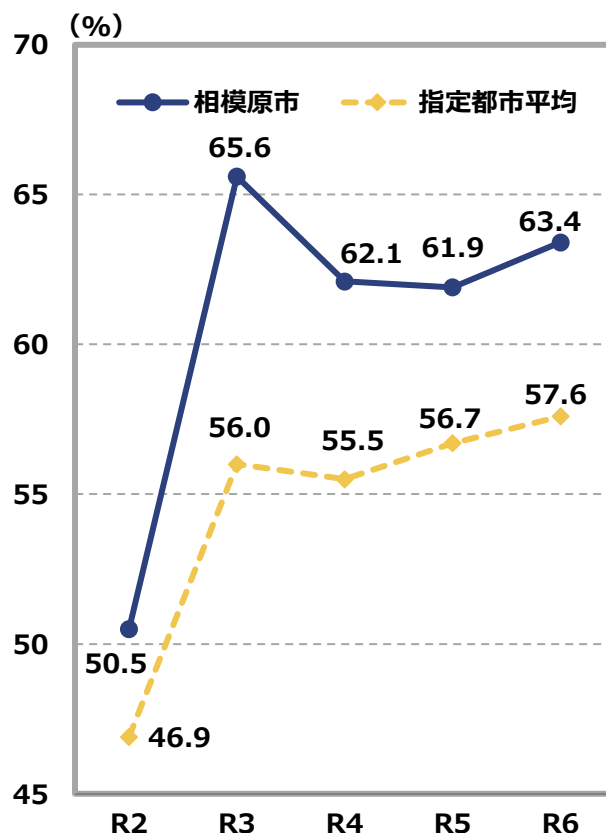
1 義務的経費の推移

- 人件費は、定年延長に伴う退職手当等の影響により増加
- 扶助費は、小児医療費助成事業の拡充等により増加



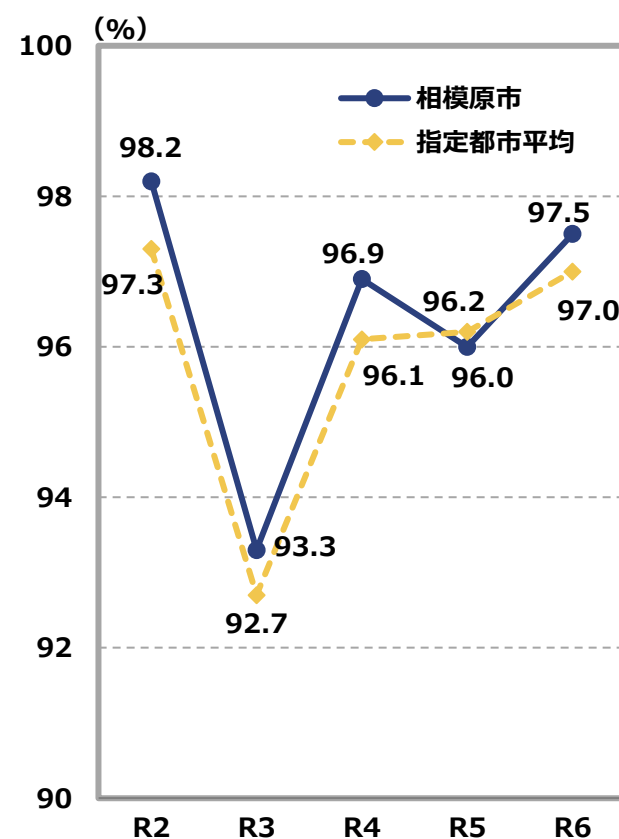
2 歳出に占める義務的経費の割合

- 人件費、扶助費の歳出割合が増加したため、歳出に占める義務的経費の割合は増加



3 経常収支比率

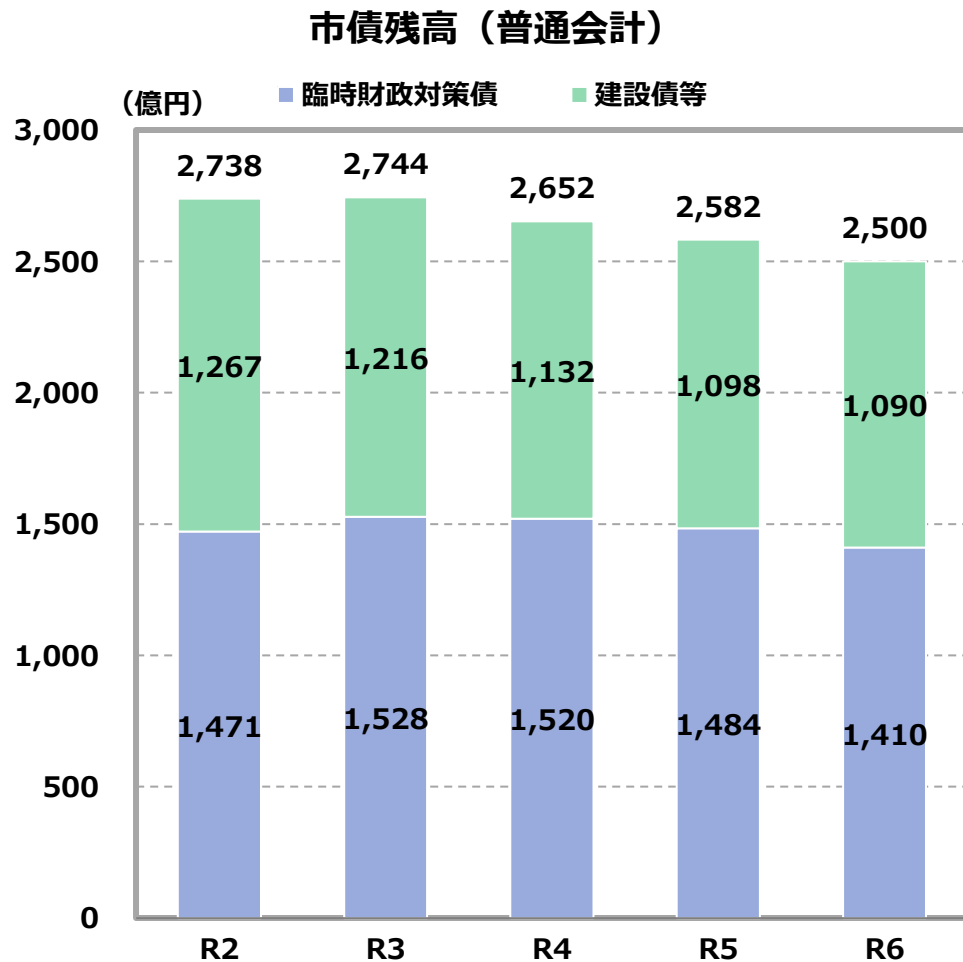
- 分子である経常経費充当一般財源が退職手当の増加や給与改定等により大幅に増額したことにより、経常収支比率は前年より増加



市債残高と財政健全化指標について①

市債残高の状況

- 臨時財政対策債、建設債等とともに残高は前年度より減少



	令和 5 年度末	令和 6 年度末	指定都市 平均	順位 (20市中)
市債残高 (普通会計) (億円)	2,582	2,500	10,159	19位
市民 1 人あたりの 市債残高 (万円)	36	40	75	18位
歳入総額に対する 市債残高の倍率	0.75	0.69	1.26	18位
健全化 指標	実質赤字比率	-	-	-
	連結 実質赤字比率	-	-	-
	実質公債費比率 (%)	2.8	2.9	6.7 19位
	将来負担比率 (%)	-	-	88.2 -

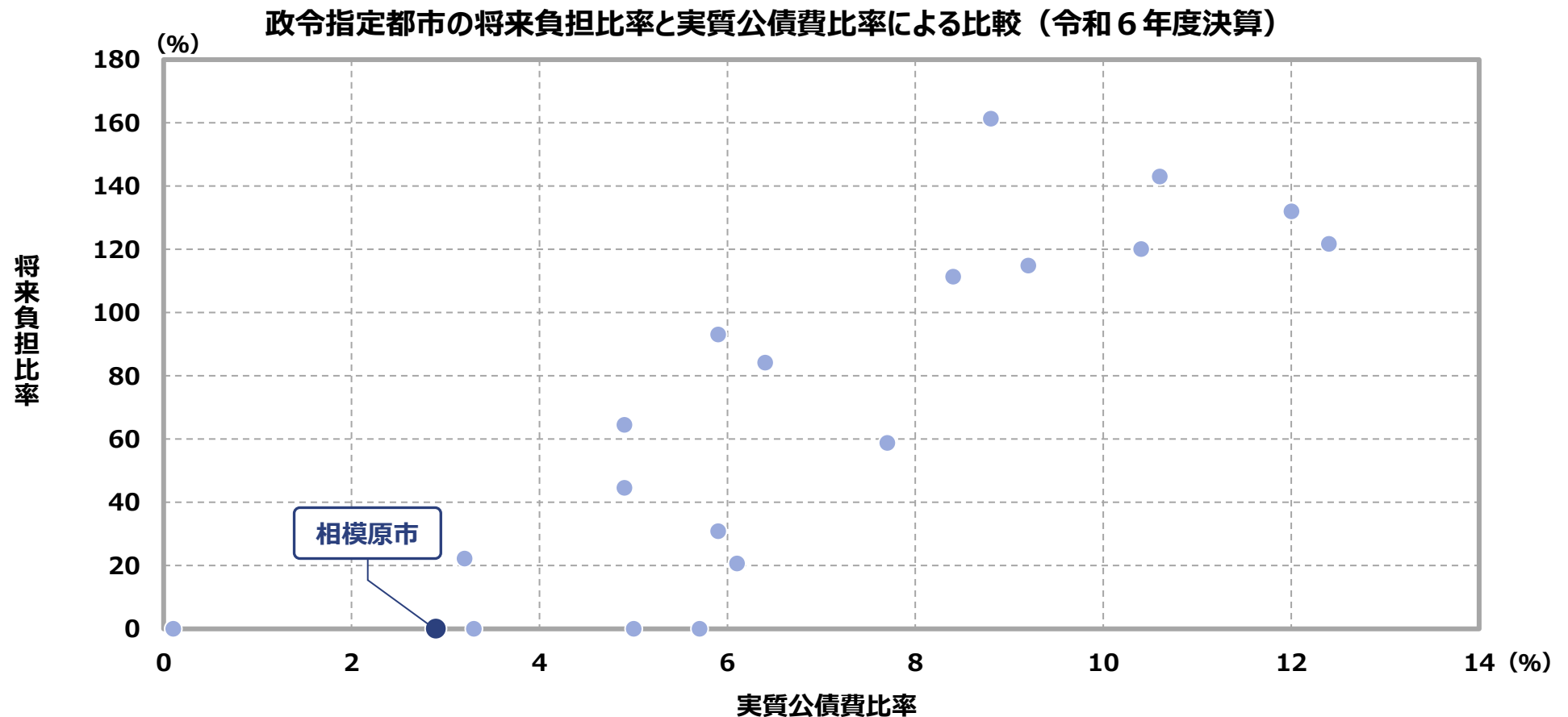
全会計の市債残高と債務負担行為 (億円)

	令和 6 年度末現在	相模原市	指定都市平均
(A) 全会計の市債残高		3,710	14,957
(B) 債務負担行為 翌年度以降支払予定額		799	2,103
(C) 計 (A) + (B)		4,509	17,060

市債残高と財政健全化指標について②

健全化指標

- 実質公債費比率は、前年度から0.1ポイント増加した
- 将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回ったため算定されなかった
- ➡ いずれの指標も本市財政の健全性を示すものとなっている



3

堅実な財政運営の堅持に向けて

相模原市マスコットキャラクター
さがみん



堅実な財政運営の堅持に向けて①

1 行財政改革の断行

さがみはら 都市経営ビジョン	平成17年策定 ▶	具体的な行動計画としてアクションプランを策定
さがみはら 都市経営指針	平成25年策定 ▶	具体的な行動計画として実行計画を策定
第2次さがみはら 都市経営指針	平成29年策定 ▶	「新・相模原市総合計画後期実施計画」と連携し、具体的な行動計画として実行計画を策定
行財政構造 改革プラン	令和3年策定 ▶	本市の将来像を実現するために、持続可能な行財政基盤の構築を目指し、財政健全化の目標を設定し取組を推進
		
さがみはら 都市経営戦略	令和7年策定 ▶	不断の行財政改革に取り組みつつ、本市が将来にわたり更なる成長・発展を続けていけるよう、将来を見据えた持続可能な都市経営を推進するための戦略を策定

改革プランによる取組等により、財政健全化の目標の早期達成が見込まれる状況となったことから、令和6年度末で終了

堅実な財政運営の堅持に向けて②

2 財政情報のスピーディーかつ積極的な公表・公開

- 市民向け情報、投資家向け情報ともに、適時性を持った積極的な財政情報の公表・公開を推進

相模原市の情報公開に関する特徴的な取組

- 財政パンフレット（予算事始）
- 相模原市財政の状況
- 他都市比較で見る相模原市財政の状況
- 本市ＨＰへのＩＲ情報掲載
- 財務諸表関連情報は附表を含め全文を本市ＨＰに掲載

本市ＨＰ「市の財政」：<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1026803/1003966/index.html>

相模原市のIR活動

- 機関投資家等への個別訪問
- 本市ＨＰ等での、適時／公平／継続的な情報公開

4

市債運営

相模原市マスコットキャラクター
さがみん



市債運営

- 資金調達を公的資金から民間資金へシフトし、財政運営の自立性を高めます
- 相模原市は、市場公募地方債を継続的に発行し、流動性の確保を図ります

資金調達の状況

		(億円)			
資金区分	平成21年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
公的資金	144 (60.9%)	33 (10.5%)	10 (2.7%)	0.4 (0.1%)	
全国型市場公募地方債（10年債）	0 (0.0%)	150 (47.8%)	150 (41.1%)	138.5 (40.0%)	
住民参加型市場公募地方債（5年債）	10 (4.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
銀行等引受債ほか	83 (34.9%)	131 (41.7%)	206 (56.2%)	207.3 (59.9%)	

令和 7 年度
第 1 回相模原市
公募公債

愛称名
潤水都市さがみはら債（10年債）

発行時期
令和 7 年10月

発行規模
100億円

「さがみはらグリーンbond発行」について①

気候変動に対する本市の取組

第2次相模原市地球温暖化対策計画(改定版)

～さがみはら脱炭素ロードマップ2050～



地球温暖化対策に関する施策の推進を図り、温室効果ガスの削減目標や、市民、事業者、市が取り組むべき対策を定めた計画です。

- これまでの気候非常事態宣言、脱炭素ロードマップ及び脱炭素社会づくり条例で示した理念、取組等を反映し、令和5年11月に改定した計画です。
- 社会情勢の変化や国・県の動向を踏まえ、本市の令和12（2030）年度の新たな二酸化炭素排出量の削減目標を設定し、脱炭素社会の実現に向けた取組の加速化を図っています。

さがみはら気候非常事態宣言 【R2.9表明】

- 気候変動により自然災害が頻発するなどの状況を受け、政令指定都市として初の気候非常事態宣言となる「さがみはら気候非常事態宣言」を表明し、**2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す決意を表明**しました。

さがみはら脱炭素ロードマップ 【R3.8策定】

- 2050年二酸化炭素排出量実質ゼロの達成に向け、「**脱炭素社会の実現**」達成までの道筋を示す「**さがみはら脱炭素ロードマップ**」を策定しました。

さがみはら地球温暖化の防止に向けた 脱炭素社会づくり条例【R5.4施行】

- 地球温暖化対策を更に加速させ、市、事業者、市民等あらゆる行動の主体が相互に連携及び協力し、一丸となって行動するため、**基本理念や気候変動適応に係る規程の追加などを盛り込み、市地球温暖化対策推進条例を改正**しました。

相模原市 SDGs未来都市計画

- SDGsの推進に向けた取組と、発展を続ける都市部と雄大な自然の調和や共生社会の推進などの高いポテンシャルが評価され、本市は「SDGs未来都市」に選定されました。これを受け、「相模原市SDGs未来都市計画」を策定し、SDGsパートナー制度やSDGsビジネス認証制度の創設、SDGsアワードの開催など、持続可能な社会の実現に向けた取組を推進しています。



「さがみはらグリーンbond発行」について②

「さがみはらグリーンbond」を発行予定

「さがみはら グリーンbond」 の概要

- 本市は、「さがみはら脱炭素ロードマップ」の取組の加速、また「相模原市SDGs未来都市計画」の実現に向けた資金調達の一環として、令和4年度から「さがみはらグリーンbond」を発行しています。
- 令和7年度も、右記内容のとおり発行を予定しております。

正式名称 第4回相模原市グリーンbond10年公募公債

年限	10年満期一括償還債
発行金額	未定
条件決定日	最速令和7年（2025年）12月予定
引受会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(事務) 大和証券株式会社
債券の種類	市場公募債（法人投資家向け）
投資表明	投資表明をいただける投資家様については、 本市HPで投資家名をご紹介します

「さがみはらグリーンbondフレームワーク」について

- 「さがみはらグリーンbondフレームワーク」では、グリーンbondの充当事業の詳細、資金管理方法、レポーティング項目等について定めています
- 本フレームワークに基づき調達された資金は、環境改善効果が見込まれる事業に充当され、その事業の効果を投資家に適切に情報公開いたします
- フレームワーク及び第三者評価については、本市HPにて公開しています

さがみはらグリーンbond 発行の情報

URL :
<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1026803/1003966/shisai/1027574.html>



さがみはらグリーンbond
フレームワーク



令和7年10月
相模原市

相模原市財政局財政部財政課 市債担当

〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15

TEL : 042-769-8216 FAX : 042-751-0208

Mail : zaisei@city.sagamihara.kanagawa.jp

HP : <https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp>

- ・本資料は、投資家向けに情報提供するものであり、投資に関する売買等の取引を提案、勧誘、助言するものではありません。
- ・本資料に掲載している情報は、修正される場合があります。
- ・本資料内のデータは、信頼できると思われる各種データに基づき作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません。